

救急救命講習

みんな苦戦しながらも三時間みっちりやりました（汗）

12月15日（火）に救急救命講習会が実施されました。修学旅行の振り替え休日でお休みの2年生を除いて1・3年生全員に教員も加わって17名が参加しました。白石消防署七ヶ宿出張所からお出でいただいた2名の救急救命士のご指導の下全員が真剣に講習を受けました。



一年 瀬澤 知樹（白石中出身）

今日は救急救命講習がありました。

最初は、自分には出来るわけがないと思っていました。講習は止血の仕方から始まり、次に蘇生方法のビデオを見て、その後実技をしました。初めはやり方が分からず大変でしたが、いざやってみると・・・「あれ？意外と出来るな」と思ってたら・・・この作業を二分間続けなければなかった。かなりキツイ作業だった。これを夏場にやったら・・・想像もしたくない。

次は、AEDの使い方を教わった。色々順番があり、「覚えられるかな」と思ったが・・・案の定、覚えていなかった（笑）だけど、何とか出来て一安心したと思ったら・・・最初から一通りやると言われて、「何～！」と思いつつも「仕方ない覚えるためだ」と思いやりました。これも終わってやっとだ～と思ったら、最後に異物除去の方法を教わりました。正直、「分らん！！」でした。

無事に終わり、疲れもピークに来てました。



一年 日下隆洋（七ヶ宿中出身）

12月15日、救急救命講習が行われました。私は、夏休みにプール監視員のバイトで一回やったことがあるので大丈夫だなと思いました。

初めに20分位映像を見てから実際に人工呼吸をやったのですが、やっぱり夏休みにやったのを忘れてしまい、最初は、思うように上手くできませんでした。

しかし、講師の先生に教えてもらいどんどんやる回数を重ねるにつれて、感覚も取り戻せて自分でスムーズに出来るようになりました。



実際にやってみて一番大変だったのは、心臓マッサージ30回と人工呼吸2回の1セットを5サイクル連続でやることでした。体力的にも続かず腕がすごく疲れてとても大変でした。

それを、難なくやることができる消防士の人はとてもすごいなあと思いました。しかし、こうして感心しているのも今のうち・・・。

これから社会に出ていく上で人を助ける場面が沢山出てくると思うので、その時は、夏休みにやったことそして今日講師の先生に教わったことを忘れずにもし私が人を助けるようになった時は、それを生かして頑張っていきたいと思います。

